

ステップ ①

サロンについて
話し合しましょう

地域の実情を知りましょう

- どのような人が暮らしているのか
- どのような悩みや課題があるのか
- どのような場所が地域の中で求められているのかなど

地域の方々と相談・連携を
しましょう

- 町内会・自治会役員
- 民生委員・児童委員
- ボランティアなど



ステップ ②

会場を探しましょう

無理なくサロンを続けられる
会場・施設を探しましょう

- 会場の中に階段や段差が多くないか
- 会場使用料は無料か有料か
- 集会場や公民館など、普段から開放されている場所の方が参加しやすい場合も



地域にある身近な会場例

たとえば…

- 公民館
- 福祉施設
- 市民センター
- 自治会館
- 福祉センター
- 商店街の空き店舗
- 集会所
- 幼稚園、保育園、児童館など
- 学校の空き教室

ステップ ③

開催の周知・参加を
呼びかけましょう

誰でも気軽に参加できるような明るい雰囲気づくりを心がけるとともに、地域の実情に合わせた情報網や連絡網を活用しましょう。

呼びかけの方法例

- 自治会や町内会の回覧板や口コミ
- チラシの作成、配布
- 役所や公共施設、自治会・町内会、スーパーや商店などの掲示板を活用
- 広報紙への掲載
- ホームページやSNS (Facebook、ブログ、twitterなど)の活用



ステップ ④

ルールとプログラムを
決めましょう

サロンの原則は、「気軽に・無理なく・自由に・楽しく」なので、厳密な規約などは必ずしも必要ではありません。しかし、運営していく上での最低限のルールを決めておくことは大切です。

また、担い手や参加者の意見や希望を募りながら内容を決めていくことも大切です。



- サロンの名称
- 参加対象
- 担い手と参加者の役割分担
- 活動日、活動時間
- 活動の内容(1日の流れや年間活動計画など)
- 参加費の有無
- 保険の加入
- プライバシー、個人情報の取り扱い
- プログラム内容

(例：お茶とおしゃべり、レクリエーション、軽体操、季節行事、健康維持のための健康チェック、学習会、料理・お菓子作りなど)



ステップ ⑤

こんなことに
気をつけましょう

参加者が安心して参加できるように、会場の安全面や衛生管理を徹底し、事故等に備えるため保険に加入しましょう。

緊急時の連絡先の管理やサロン活動で知り得たプライバシー、個人情報の取り扱いに注意することも大切です。「人の噂話をしない」、「約束事を守る」など日常生活におけるマナーを守ることはもちろん、守秘義務など最低限のルールを決め、安心安全なサロン実施を心がけましょう。

